



地域医療通信

④

西脇市多可郡医師会 地域医療検討会 平成 21 年 3 月発行

2 月に開催した第 11 回地域医療検討会で市民フォーラム開催に向けて検討を行った。

<市民フォーラム開催についてのまとめ>

① 医療崩壊の現状を伝える。

意識や、やる気のある方々はたくさんいる。またそのかたまりが輪になりつつある。各地区別の講演会などで熱気を感じている。種はたくさんまかれている。それをどう実らせるかが大切。そのためには一人一人が出来ることを見つけていこう。



② 西脇病院の方向性が定まらず見えにくい。充実するためには・・・体制づくりが大切。病院側からもメッセージは発信しているので、市民から手をつないでいく必要がある。

③ 西脇病院の建て替えについて納得出来ないとの意見もあるが、これからどうしていくかということが大切。前向きに進めていく事の必要性があり。

④ 「市民が守る病院づくり」が大切である。「西脇の医療を守る」を軸にして活動する。そのなかで「地域医療検討会」「小児科を守る会」や他の団体と連携する。

⑤ テーマを決めたスローガン作りも必要なのでは？

☆医療の問題は小児だけではなく高齢者にもしわ寄せがきている。

☆医師不足解消は、制度を変えても 10 年先でないと結果はでない。今の自分に出来る事として・・・。「適正受診」を心がける。市民同士の交流会・情報交換などをする。かかりつけ医をもち、健康管理を各自でしっかりとする（予防医学的な事もふまえ）。

* 次につながるフォーラムを希望。

それぞれの立場で意見を出し合い、発表・交換などをしながら、お互いに盛り上げていく。各自が簡単に出来る具体策を提案していく。各世代から元気な方に参加してもらう事も大切。近所付き合い、地域コミュニケーションから学ぶこともある。

* 参加型フォーラム

会場とのやりとり、メッセージで伝える。アンケートを取るなど。

みんなの意見が出し合える、聞くだけにならない場を。いろんな立場の人が声を上げていくリレートーク（例、小児医療に係わる人・高齢医療に係わる人・行政・病院・学生など）守る会などの活動をしていない、全く反対の立場の人からの意見も聞ける場。テーマを掲げる → テーマがないと話がしにくい。行政に緊急事態の声をあげてもらおう。グランドオープンに繋がるフォーラムに！！参加者が決議して終われる場に。赤穂市民病院の病院祭の映像を紹介してグランドオープンのイメージをつかんでもらう。

会場を何個かに分けてテーマ別の部屋を作る（チーム分け、身近に懇談が出来る場の提供）

* 元気な病院づくり

* 仲間づくり

・ 研修医の集まる病院 住民に支えられた病院 病院の大変な現状を知る

* 『幸せに生きる』をテーマに

幸せに生きるための 10 の方法・病気にならない方法などのサブテーマを掲げては？
*なんでも相談できる窓口 ・コーディネーターが必要 NPO などの民間の窓口
たくさんの方が参加できるように、色々な立場の方々にパネリストとして参加してもらう
・本日の参加者が参加していない人へ知らせ、少しずつでも参加人数を増やしていく。

熱い思いを伝えて仲間を増やし、検討会への参加を呼びかける

・キーワードは「ありがとう」 その言葉できっと温かく繋がっていける 2009.2.18
次回の検討会でさらに詰めていきたいと考えています。お考えお持ちより下さい。



< 柏原病院小児科を守る会からもエール！ >

当日は、柏原の小児科を守る会から代表の丹生さん、事務局の岩崎さんに参加していただいた。丹生さんは、2月22日に行われた「兵庫県救急医療フォーラム」で講演され「医療の不確実性」について、こう話をされた。

< 西脇で開業されている富原先生は以前、救急救命センターで11年間働いてこられました。その先生が言われた言葉です。 >
< 救急とか、産科、小児科の医者が必ずしも「厳しいから辞めたいと思っているわけではない」ということだけは、理解してもらいたいんです。本当に働きやすい環境があれば、必ず医者というのは自分のやりたいことがありますから・・・何も楽をしたいと思っているわけではないんです。ただし、今の世の中、あまりにも医学が万能になりすぎて、医学が進みすぎたために、「病気、死ぬはずないやん」と・・・。そういう、病気扱いされていない現実が、産科医や小児科医を、すごく苦しめているんだということだけは、理解してもらいたいと思うんです。 >
> こうした医師の思いが市民に伝われば、医療崩壊を解決する大きな要素となると確信しています。

< 高田井町単独地区別講演会開催される >



3月4日、重春地区の先頭を切って高田井町単独で「医療崩壊」についての講演会が公民館「あすなろ」で行われた。毎回、多くの住民の方々の参加に感謝するとともに関心の高さを実感しました。私も、藤田先生もともに

高田井町には深い関係がり、あらためていい話になったという思いを強めました。

3月4日は野村町で、3月14日には、和田・谷町講演を和田公民館、18日板波・平野・高松・和布町講演を板波公民館、23日は津万地区・大野隣保館、4月4日、黒田庄公民館にて実施予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。

「地域医療検討会」は、3月11日（水曜）7時半から西脇区会館（コミセン）多くの方の参加をお待ちしております。毎月第2水曜日です。（4月は8日）お尋ねは、西脇市多可郡医師会 <Tel 0795-23-3402>

メール会員の登録はこちらへ：tomihara@tomihara.com

検討会などの案内・連絡・情報提供を行っています。 <http://tomihara.com> でも地域医療のデータ・情報を公開しています。